

青少年・会員開発委員会担当副理事長方針

鳴海 宏樹

入会年度も異なり、これまで歩んできた道のりも違う中で、メンバー一人ひとりが抱く青年会議所活動への目的は異なるのではないのでしょうか。しかし、組織にとっては、「個」の価値観を尊重し合う事で、その団体の活動目的すら薄れてしまう可能性があります。もちろん個々の価値観を否定してしまっただけでは、活動意欲が沸いてこない可能性もあると考えられますが、青年会議所が掲げる「明るい豊かな社会」の実現へと繋げるためには、メンバー一人ひとりの考えを調和させ、組織人として活動する事が重要であると考えます。

「明るい豊かな社会」を考えたとき、未来を担う青少年の育成は必要不可欠であると考えます。しかし現在の子供達がおかれる環境は、様々な事柄において受動的な部分が多く、「個」の考えや想いを形にする環境にはほど遠いと感じます。その原因には、大人達が自身の子どもの頃を美化し、現在との比較対象にするがあまり、過剰なまでの押し付けがあるのではないのでしょうか。まずは、我々 J A Y C E E が子供達のおかれる現状に対して、しっかりとした認識を持つ事が必要であると考えます。その中で、理想とする社会へ向けて、子供達に今何が一番必要なのかを考え、周囲の大人へ影響力のある人財へと成長する必要があると考えます。また、子供達には、得意・不得意関係なく、様々な事に挑戦できる場を提供する事が必要であり、そこで得られた学びが、今後人生の「生きる力」へと変わっていくと考えます。

私は副理事長として、これまでの青年会議所活動で、貴重な時間を与えていただいた全の方への感謝を忘れる事なく、先輩諸兄が歩まれた歴史と伝統を礎に、次代へと繋がる新たな価値を見出す事に、確固たる志と使命感をもって邁進して参ります。

<青少年委員会>

子供達に様々な価値観を与えられ、自らの将来を創造できるきっかけとなる事業展開をしていただきたい。そしてメンバー自らが周囲の大人へと影響を与えられる存在となる事業展開をしていただきたい。

<会員開発委員会>

多くの機会に率先して参加・協力する事で、青年会議所の価値を見出していただきたい。その中で、自己研鑽に励み、次代を担うリーダーとして成長するための礎となる1年にしていただきたい。